

ごみ処理施設の建設候補地を募集

新しい施設は市とみやま市の共同で整備を計画

柳川市クリーンセンターは、平成3年の稼働開始以来、ごみ焼却施設として21年間にわたり稼働してきました。しかし、近年、機器の補修や部品の調達などに苦慮するなど、施設更新の時期を迎えています。みやま市も、ほぼ同時期に稼働開始しており状況が同じで、次期ごみ処理施設の建設が共通の課題になっていました。このようなことから、市とみやま市は、将来も安全に安定してごみ処理ができるよう、共同で新しいごみ処理施設（焼却施設、リサイクル施設）を整備することを計画しています。最新のごみ焼却施設は、高度な燃焼技術と徹底した排ガス処理などにより、環境に与える負荷も少なく、安全にも十分配慮されています。施設の整備に当たっては、より多くの市民の皆さんに関心を持ってもらうため、建設候補地を公募します。

新しい施設の整備方針

- ごみ処理対象とする区域は、柳川市およびみやま市全域
- ごみ処理の対象は可燃ごみ、不燃物、資源物
- ごみ焼却施設の処理規模は、24時間運転でおおむね100トンから130トンを想定
- 最新の焼却技術を導入し、安全で安定した施設で、リサイクルに対する意識啓発や循環型社会の形成に向けた情報を発信できる施設
- ごみ処理施設からの排ガスはもちろん、臭気や騒音などの影響がないように万全の対策を行い、周辺環境の保全と調和、緑化を図る
- 建設予定地の行政区と、施設の運営に係る協定書を締結するとともに、施設運営に関する情報は積極的に公開し、地元地域との信頼関係の構築に努める
- ごみ焼却に伴う熱エネルギーの有効活用を努める

募集要領

■**応募できる者** 土地所有者または地元行政区
※候補地の土地所有者が複数の場合や、候補地が複数の行政区にまたがる場合は、共同で応募してください。

■基本条件

- 市内またはみやま市内で、おおむね2ヘクタールから2.5ヘクタール程度の用地面積が確保できること
- 土地所有者が応募する場合、地元行政区に説明していること
- 地元行政区が応募する場合、土地所有者全員の同意が得られているか、得られる可能性が高いこと
- 候補地が複数の行政区にまたがり、土地所有者が応募するときは、関係するすべての行政区に説明していること
- ※土地の地元行政区が不明な場合は、市廃棄物対策課へ事前にお問い合わせください。

■**募集期間** 8月1日～10月31日(土日、祝日を除く)

■**応募書類の配布および提出先** 市廃棄物対策課(柳川市佃町1157番地1)

■**提出方法** 同課に持参すること

■**選定方法** 応募期間終了後、有識者などで構成する委員会で慎重に協議し、公正に評価します。

問い合わせは、同課(☎72・1334)まで。



市政や社会教育への功労者を表彰

市政功労者27人3団体と社会教育功労者40人へ

市政功労者

市は、市政の発展に力を尽くした人を表彰しています。平成24年度の市政功労者表彰式は、7月2日に市役所柳川庁舎で行われました。長年、行政区長や農業委員を務めた人や市に多額の寄附をした人、公共的な団体の役員を務めた人、ボランティア活動をした人など、27人、3団体が表彰されました。表彰された人は次のとおりです(敬称略)。

■永年在職

▷行政区長在職10年＝下川稔雄(曙町)、乗富昇(橋本)、今村隆義(葉小路)、大淵瞳(南本村)、田中良隆(吉開1)、成清一幸(旧北二重)、関真喜雄(四平)、下川肇(今古賀西)、原田史郎(両開中開)、中島學(弥四郎町第一)、松田智博(中山3の1)▷農業委員在職15年＝久保泰道、高田學、江崎保夫▷同10年＝猿渡昭光

■市の公益のため多額の金品の寄附

▷福祉事業のための金品の寄附＝松本勝男▷公共交通の地域間格差解消のため金品の寄附＝與田博利▷教育の振興発展のため金品の寄附＝(財)緒方記念科学振興財団(緒方巧理事長)▷子どもたちへの教育サポート事業への金品の寄附＝(学)ハリウッド美容専門学園▷ソーラーボート大会への金品の寄附＝(株)GSユアサ

■市の公益および振興発展に尽力し功績顕著

松藤一朗(大和町水利組合組合長)、黒田忠記(ノリの共販運営をはじめ水産業の振興発展)、川寄洋(保健医療事業の充実発展と地域保健医療体制の整備)、池上正則(地域文化の振興発展と郷土縁の文学者の顕彰)、関喜胤(柳川市交通安全協会久末分会長)、高橋勝明(同協会垂見分会長)、井上一實(同協会八ツ家分会長)、松藤友一(同協会皿垣分会長)

■市民の規範と認められる行為

西田守男(柳川市心配ごと相談所常任相談員)、佐藤決(剣道を通して青少年の健全育成)

社会教育功労者表彰

市教育委員会は、平成24年度社会教育功労者表彰を7月5日、三橋公民館で行いました。表彰されたのは、長年、公民館活動やスポーツ、文化、芸術活動など、社会教育の発展に寄与した40人です。受賞した人は次のとおりです(敬称略)。

■公民館

▷公民館専門委員＝野田洋司(柳河)、野口和幸(同)、田中万里(矢留)、田中節子(同)、西村節子(同)、宮川良(両開)、矢ヶ部優也(同)▷公民館主事補＝山田亮子(東宮永)▷地区公民館長＝古賀貢(中六十丁)、内田成彦(東六十丁西)、古賀光次(西六十丁西)、木下敬止(寿硯)、亀崎敏彦(西ノ切西)、松藤次夫(中ノ切東)、原田史郎(両開中開)、関真喜雄(四平)、森田伊織(豊後屋西)、亀崎勉(上塩塚西)、高口松則(上塩塚東)、藤吉昌徳(散田)

■柳川市体育協会

金子勇、藤丸九州男、住田静子、進藤スミ子、江崎ヒサ子

■柳川市スポーツ推進委員

河島悦子、大津洋之、井上浩希

■柳川市文化協会連合会

大橋美嗣

■大和町中島アンビシャス広場推進員

堤カズ子、古賀美代子、西田幸子、江崎トシ子、古賀武治、中村ラン子、松藤真智子、中村清、西田幸子、松藤栄子、稲又曉子

柳川市職員・消防吏員 新規採用試験を実施

申込受付期限

8月17日(金)まで



市では平成25年4月に採用予定の市職員(初級行政事務、上級行政事務、保健師)と消防吏員の募集を行っています。受験資格は試験区分で異なります。詳しい内容は、柳川庁舎人事秘書課と大和・三橋庁舎市民サービス課、市消防本部総務課、同東部出張所で配布する試験案内をご覧ください。

■試験区分・採用予定数・受験資格

- ①初級行政事務Ⅱ2人(平成24年4月2日～平成27年4月1日生まれ。ただし、大学での在学期間が2年を超える人を除く)
- ②上級行政事務Ⅲ3人(昭和60年4月2日～平成3年4月1日生まれ)
- ③保健師Ⅱ1人(昭和60年4月2日以降に生まれた人で、保健師免許を有する人か、来春までに免許取得見込みの人)
- ④消防吏員Ⅱ2人(昭和60年4月2

日～平成27年4月1日生まれ。採用後、柳川市またはその近郊に居住できる人)

■1次試験

▽択一式の教養試験
①④ Ⅱ 高校卒業程度、② Ⅱ 大学卒業程度、③ Ⅱ 短大卒業程度、適性検査①②③④とも)▽専門試験② Ⅱ 上級行政事務に必要な専門知識など、③ Ⅱ 保健師に必要な専門知識など)▽体力試験(④のみ)
※2次試験は面接と作文、身体検査(10月予定)

■試験案内・申込用紙

市人事秘書課(柳川庁舎)、大和・三橋庁舎市民サービス課、市消防本部、同東部出張所で配布。郵送での請求は「申込用紙」と朱書きし、1200円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(A4サイズの書類が入る大きさ)を同封し請求。また、申込用紙は市のホームページからもダウンロードできます。

■申込受付期限

8月17日(金)

■1次試験日

9月16日(日)

■試験会場

市立柳川中学校

■申し込み・問い合わせ

①～③は、市人事秘書課(〒832・8601柳川市本町87番地1、☎77・8403)まで。④は、市消防本部総務課(〒832・0061柳川市本城町4番地2、☎74・0120)まで。